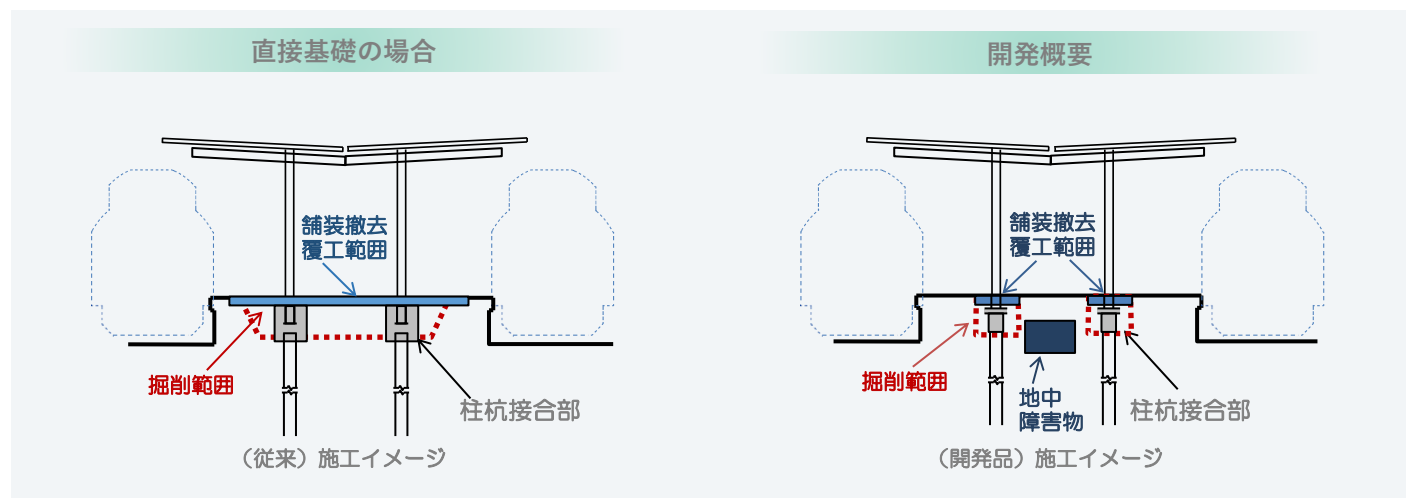


上家柱と鋼管杭をダイレクトに接合する工法

開発経緯

駅ホーム上家の建設工事において、従来の基礎工法では柱杭接合部が大きく、建設コスト増の要因となっている。また、柱杭接合部のサイズが大きいため、ホーム舗装の支障撤去範囲が広く、地中障害物のリスクも高い。そこで、従来工法に代わるコンパクトな上家基礎工法『柱杭スポットと工法』を開発した。



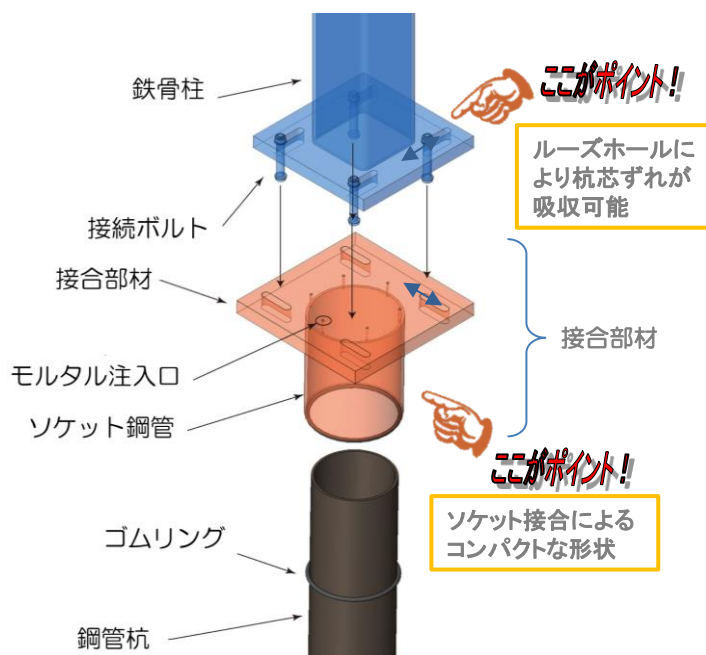
特長

- (1) 鋼管杭にダイレクトに上家柱を接合可能
- (2) ソケット接合によるコンパクトな形状
- (3) 鋼管杭の芯ずれと倒れを調整可能
- (4) 任意の杭サイズ・柱サイズに対応



掘削範囲の縮小・施工手間の削減により

- ・工期短縮、コストダウンの実現
- ・仮囲い設置範囲の縮小



採用実績

- JR東日本：鶴見駅、田町駅など
- 東鉄工業：総合研修センター

知的財産権

- 特許第7448914号
- 特願2022-030624

お問い合わせ

お問い合わせ	JR東日本 構造技術センター 03-6878-0017(代表) 東鉄工業 03-5396-7625
製造・販売	千代田工営株式会社 048-642-4191